

# 言語学専攻 博士前期課程

## 1. 修了に要する科目, 単位数, 科目数などの要件

要件項目名	必要 単位数	必要 科目数	備考 (上限, その他)
総単位数	30		
└選択必修科目	12		
└統語論基礎	4		
└意味論基礎	4		
└音声学・音韻論基礎	4		
└選択科目	18		
└自専攻自コース科目			
└自専攻他コース科目			
└自研究科他専攻科目			
修士論文			必要な研究指導を受けた上, 修士論文の審査および試験に合格すること (修士論文を提出する学期の履修登録期間に必ず修士論文登録をすること)

## 2. 授業科目の編成・単位

科目名	単位数		
	必修	選必	選択
<一般言語学>			
統語論基礎		4	
意味論基礎		4	
音声学・音韻論基礎		4	
理論言語学A			4
理論言語学B			4
理論言語学C			4
実験音声学特講・演習 I-A			2
実験音声学特講・演習 I-B			2
実験音声学特講・演習 II-A			2
実験音声学特講・演習 II-B			2
文法理論			4
意味論			4
Psycholinguistics ※注1			4
コーパス言語学1			2
コーパス言語学2			2
Computer-assisted Language Learning ※注1			4
Sociolinguistics ※注1			4
日本語言語学A (現代日本語構造論)			4
日本語言語学B (日本語学特講)			4
フィールド・ワーク			4
言語学特殊講義A (ミニマリスト統語論)			4
言語学特殊講義B-1 (音韻論と言語障害)			2
言語学特殊講義B-2 (音韻論と言語障害)			2

科目名	単位数		
	必修	選必	選択
現代言語学諸問題A (音韻論)			4
現代言語学諸問題B (文法理論)			4
現代言語学諸問題C (日本語言語学)			4
現代言語学諸問題D (意味論)			4
<応用言語学 (外国語教育)>			
実験統計法1			2
実験統計法2			2
Second Language Acquisition (English) ※注1			4
言語テスト1			2
言語テスト2			2
TEFL Methodology			4
日本語教授法演習			4
Applied Linguistics (Focus on Form) ※注1			4
Bilingual Education ※注1			4
フランス語教授法1			2
フランス語教授法2			2
第二言語習得研究 (日本語)			4
日本語教授法特講			4
談話研究			4
中間言語語用論			4
Semantics and Vocabulary Learning ※注1			2
Affective Factors in TESOL ※注1			2
Sociocultural Theory & SLA ※注1			2
Qualitative Research Methods ※注1			2

科目名	単位数		
	必修	選必	選択
Language and Power ※注1			2
＜個別外国語研究＞			
英語史			2
英語文体論			2
ドイツ語意味論1			2
ドイツ語意味論2			2
ドイツ語統語論1			2
ドイツ語統語論2			2
ドイツ語文体論1			2
ドイツ語文体論2			2
ドイツ語音韻論1			2
ドイツ語音韻論2			2
ドイツ語教育1			2
ドイツ語教育2			2
フランス語文法論1			2
フランス語文法論2			2
フランス語文体論1			2
フランス語文体論2			2
フランス語：文体から意味へ1			2
フランス語：文体から意味へ2			2
フランス語音韻論			4
イスパニア語史1			2
イスパニア語史2			2
イスパニア語文法論1			2
イスパニア語文法論2			2
イスパニア語のバリエーション1			2
イスパニア語のバリエーション2			2
イスパニア語研究1			2
イスパニア語研究2			2
イスパニア語応用言語学1			2
イスパニア語応用言語学2			2

科目名	単位数		
	必修	選必	選択
ロシア語史1			2
ロシア語史2			2
ロシア語文法論1			2
ロシア語文法論2			2
ロシア語翻訳論1			2
ロシア語翻訳論2			2
ロシア語コミュニケーション論1			2
ロシア語コミュニケーション論2			2
ロシア語文体論1			2
ロシア語文体論2			2
ポルトガル語の拡がりと変異1			2
ポルトガル語の拡がりと変異2			2
ポルトガル語史1			2
ポルトガル語史2			2
ポルトガル語文法論1			2
ポルトガル語文法論2			2
ポルトガル語比較文体論1			2
ポルトガル語比較文体論2			2
ポルトガル語翻訳・通訳論1			2
ポルトガル語翻訳・通訳論2			2
日本語研究A-1			2
日本語研究A-2			2
日本語研究B-1			2
日本語研究B-2			2
＜個別言語学特殊講義＞			
音韻論特講1			2
音韻論特講2			2
文法理論演習			4
意味論演習			4
心理言語学演習1			2
心理言語学演習2			2

※注1：英語教授法コース（TESOL）開講科目。時間割はP.140参照

### 3. 履修上の注意

1) 選択必修の3科目を含め、30単位以上を履修すること。

なお、選択必修科目（「統語論基礎」「意味論基礎」「音声学・音韻論基礎」）は、修了要件上の必修科目であり、入学1年次に履修することが望ましい。

2) 1年次終了までに指導教員を決め、履修計画および修士論文の作成に対する指導を受けること。

3) 2年次春学期に「修士論文計画案」を提出し、論文審査委員（主査1名、副査2名以上）による面接を受けること。

その結果を受けて、論文の作成にかかり、所定の期限に提出後、学位論文審査を受けること。

■学部開講関連科目一覧（参考）

授 業 科 目 名		担 当 者 *：非常勤教員	開講学科等
休	言語情報論	RUIZ TINOCO Antonio	言語学副専攻
	コーパス言語学	RUIZ TINOCO Antonio	言語学副専攻
	社会言語学	BRITTO Francis	言語学副専攻
休	日本語史 1	本 橋 辰 至	言語学副専攻
休	日本語史 2	本 橋 辰 至	言語学副専攻
	方言調査理論 A	* 井 上 史 雄	言語学副専攻
	方言調査理論 B	* 井 上 史 雄	言語学副専攻
	日本語教育特殊講義 1	小 柳 かおる	言語学副専攻
休	日本語教育特殊講義 2	小 柳 かおる	言語学副専攻
	言語学特殊講義 1（ロマンス語研究）	* 小 川 定 義	言語学副専攻
	言語学特殊講義 2（ロマンス語研究）	* 小 川 定 義	言語学副専攻
	日本語教授法 I	* ペレラ 柴田 奈津子	言語学副専攻
	日本語教授法 II	* ペレラ 柴田 奈津子	言語学副専攻
	ヨーロッパ言語社会論 1	木村 護郎クリストフ	ドイツ語学科
	ヨーロッパ言語社会論 2	泉 邦 寿	フランス語学科
	ヨーロッパ言語社会論 3	木村 護郎クリストフ	ドイツ語学科
	ヨーロッパ言語社会論 4	泉 邦 寿	フランス語学科

※科目の詳細（開講期，曜日，時限等）については，学部の授業時間表および履修要覧で確認すること。

※上記の科目は，履修することは可能だが，修了要件に算入することは出来ない。

4. 開講科目一覧表

登 録 コード	開 講 期	科 目 名	単 位 数	担当教員名 ※(他)：他専攻教員 *：非常勤教員	曜 日 時 限		教 室	備 考
					曜 日	時 限		
MFLG6020	春	意味論基礎	4	加 藤 泰 彦	金	3	2-707	前期課程対象
					金	4		
MFLG6030	春	音声学・音韻論基礎	4	* 菅 原 勉	月	2	9-354	前期課程対象
					木	2		
MFLG7040	春	実験音声学特講・演習 I-A	2	* 菅 原 勉 * 小 島 慶 一	水	4	9-555A	同時担当
MFLG7060	春	実験音声学特講・演習 II-A	2	* 菅 原 勉	金	3	9-555A	
MFLG7140	春	フィールド・ワーク	4	* 田 中 ゆかり	火	1	COM-H	隔年開講
					火	2		
MFLG7161	春	言語学特殊講義 A (ミニマリスト統語論)	4	* 北 原 久 嗣	木	4	10-B105B	
					木	5		
MFLG7170	春	言語学特殊講義 B-1 (音韻論と言語障害)	2	* 都 田 青 子	月	3	紀-111	前期課程対象
MFLG7210	春	現代言語学諸問題 A (音韻論)	4	篠 原 茂 子	火	2	紀-103	
					火	3		
MFLG7270	春	実験統計法 1	2	笠 島 準 一	月	3	COM-H	
MFLG7290	春	言語テストング 1	2	笠 島 準 一	金	4	COM-H	

登録コード	開講期	科目名	単位数	担当教員名 ※(他)：他専攻教員 *：非常勤教員	曜日	時限	教室	備考
MFLG7350	春	日本語教授法特講	4	小柳 かおる	火 金	2 2	10-324 紀-B112	隔年開講
MFLG7370	春	中間言語語用論	4	清水 崇文	木 木	3 4	11-615	
MFLG7390	春	英語文体論	2	MILWARD Michael	金	5	紀-115	隔年開講
MFLG7440	春	ドイツ語統語論 1	2	吉田 有	月	4	9-358	
MFLG7460	春	ドイツ語文体論 1	2	HOLLERICH Jean-Claude	火	2	3-531	
MFLG7480	春	ドイツ語音韻論 1	2	新倉 真矢子	水	2	研究室	
MFLG7491	春	ドイツ語教育 1	2	LIPSKY Angela	木	3	10-B105B	
MFLG7500	春	フランス語文法論 1	2	TUCHAIS Simon	金	2	研究室	隔年開講
MFLG7531	春	フランス語：文体から意味へ 1	2	水林 章	火	2	3-571A	隔年開講
MFLG7580	春	イスパニア語文法論 1	2	RUIZ TINOCO Antonio	月	4	11-428	隔年開講
MFLG7640	春	イスパニア語応用言語学 1	2	*上田 博人	金	5	紀-105	隔年開講
MFLG7680	春	ロシア語文法論 1	2	井上 幸義	水	2	研究室	隔年開講，前期課程対象
MFLG7700	春	ロシア語翻訳論 1	2	LATYSHEVA Svetlana	火	2	研究室	隔年開講
MFLG7720	春	ロシア語コミュニケーション論 1	2	徳永 晴美	金	3	研究室	隔年開講
MFLG7780	春	ポルトガル語史 1	2	*黒澤 直俊	木	5	紀-111	
MFLG7840	春	ポルトガル語翻訳・通訳論 1	2	TOIDA Helena	木	3	研究室	隔年開講
MFLG7900	春	音韻論特講 1	2	新倉 真矢子	木	3	3-571A	
MFLG7940	春	心理言語学演習 1	2	吉田 研作	-	-	-	
MFLG7090	春	意味論	4	*松本 曜	-	-	-	隔年開講，春学期集中
MFLG6010	秋	統語論基礎	4	福井 直樹	火 火	3 4	2-707	前期課程対象
MFLG7020	秋	理論言語学 B	4	加藤 泰彦	金 金	3 4	2-707	
MFLG7050	秋	実験音声学特講・演習 I-B	2	*菅原 勉 *小島 慶一	水	4	9-555A	同時担当
MFLG7070	秋	実験音声学特講・演習 II-B	2	*菅原 勉	金	3	9-555A	
MFLG7080	秋	文法理論	4	福井 直樹	木 木	4 5	2-707	
MFLG7130	秋	日本語言語学 B (日本語学特講)	4	本橋 辰至	月 木	3 3	研究室	隔年開講
MFLG7180	秋	言語学特殊講義 B-2 (音韻論と言語障害)	2	*都田 青子	月	3	紀-111	前期課程対象
MFLG7280	秋	実験統計法 2	2	笠島 準一	月	3	COM-H	
MFLG7300	秋	言語テストイング 2	2	笠島 準一	金	4	COM-H	
MFLG7340	秋	第二言語習得研究 (日本語)	4	小柳 かおる	火 金	2 2	10-324 紀-101	
MFLG7360	秋	談話研究	4	清水 崇文	木 木	4 5	10-B105B	
MFLG7380	秋	英語史	2	MILWARD Michael	金	5	紀-115	隔年開講
MFLG7450	秋	ドイツ語統語論 2	2	吉田 有	月	4	9-358	
MFLG7470	秋	ドイツ語文体論 2	2	HOLLERICH Jean-Claude	火	2	3-531	
MFLG7490	秋	ドイツ語音韻論 2	2	新倉 真矢子	水	2	研究室	
MFLG7492	秋	ドイツ語教育 2	2	LIPSKY Angela	木	3	10-B105B	
MFLG7510	秋	フランス語文法論 2	2	TUCHAIS Simon	金	2	研究室	隔年開講
MFLG7532	秋	フランス語：文体から意味へ 2	2	水林 章	火	2	3-571A	隔年開講

登録コード	開講期	科目名	単位数	担当教員名 ※(他):他専攻教員 *:非常勤教員	曜日	時限	教室	備考
MFLG7590	秋	イスパニア語文法論2	2	RUIZ TINOCO Antonio	月	4	11-428	隔年開講
MFLG7650	秋	イスパニア語応用言語学2	2	* 上田 博人	金	3	11-321	隔年開講
MFLG7690	秋	ロシア語文法論2	2	井上 幸義	水	2	研究室	隔年開講, 前期課程対象
MFLG7710	秋	ロシア語翻訳論2	2	LATYSHEVA Svetlana	火	2	研究室	隔年開講
MFLG7730	秋	ロシア語コミュニケーション論2	2	徳永 晴美	金	3	研究室	隔年開講
MFLG7790	秋	ポルトガル語史2	2	* 黒澤 直俊	木	5	紀-111	
MFLG7850	秋	ポルトガル語翻訳・通訳論2	2	TOIDA Helena	木	3	研究室	隔年開講
MFLG7860	秋	日本語研究A-1	2	本橋 辰至	火	4	9-458	
MFLG7870	秋	日本語研究A-2	2	本橋 辰至	火	5	9-458	
MFLG7910	秋	音韻論特講2	2	新倉 真矢子	木	3	3-571A	
MFLG7950	秋	心理言語学演習2	2	吉田 研作	-	-	-	
MFLG9310	秋	修士論文	0	言語学専攻各指導教員	-	-	-	M2対象
MFLG7010	休講	理論言語学A	4					
MFLG7030	休講	理論言語学C	4					
MFLG7100	休講	コーパス言語学1	2					
MFLG7110	休講	コーパス言語学2	2					
MFLG7120	休講	日本語言語学A(現代日本語構造論)	4					
MFLG7220	休講	現代言語学諸問題B(文法理論)	4					
MFLG7230	休講	現代言語学諸問題C(日本語言語学)	4					
MFLG7240	休講	現代言語学諸問題D(意味論)	4					
MFLG7310	休講	日本語教授法演習	4					隔年開講
MFLG7320	休講	フランス語教授法1	2					隔年開講
MFLG7330	休講	フランス語教授法2	2					隔年開講
MFLG7420	休講	ドイツ語意味論1	2					
MFLG7430	休講	ドイツ語意味論2	2					
MFLG7520	休講	フランス語文体論1	2					隔年開講
MFLG7530	休講	フランス語文体論2	2					隔年開講
MFLG7541	休講	フランス語音韻論	4					
MFLG7560	休講	イスパニア語史1	2					隔年開講
MFLG7570	休講	イスパニア語史2	2					隔年開講
MFLG7600	休講	イスパニア語のバリエーション1	2					隔年開講
MFLG7610	休講	イスパニア語のバリエーション2	2					隔年開講
MFLG7620	休講	イスパニア語研究1	2					隔年開講
MFLG7630	休講	イスパニア語研究2	2					隔年開講
MFLG7660	休講	ロシア語史1	2					隔年開講
MFLG7670	休講	ロシア語史2	2					隔年開講
MFLG7740	休講	ロシア語文体論1	2					隔年開講
MFLG7750	休講	ロシア語文体論2	2					隔年開講
MFLG7760	休講	ポルトガル語の拡がりの変異1	2					隔年開講
MFLG7770	休講	ポルトガル語の拡がりの変異2	2					隔年開講
MFLG7800	休講	ポルトガル語文法論1	2					隔年開講
MFLG7810	休講	ポルトガル語文法論2	2					隔年開講
MFLG7820	休講	ポルトガル語比較文体論1	2					隔年開講
MFLG7830	休講	ポルトガル語比較文体論2	2					隔年開講
MFLG7880	休講	日本語研究B-1	2					
MFLG7890	休講	日本語研究B-2	2					
MFLG7920	休講	文法理論演習	4					
MFLG7930	休講	意味論演習	4					

# 言語学専攻 博士前期課程 言語聴覚研究コース

## 【2008年次生以降入学者】

### 1. 修了に要する科目，単位数，科目数などの要件

要件項目名	必要単位数	必要科目数	備考（上限，その他）
総単位数	30		
└必修科目	6		
└言語聴覚障害学特論	2		
└言語聴覚障害研究法B（実験計画法）	2		
└言語聴覚障害研究法D（文献講読）	2		
└選択必修科目	2		「コミュニケーション科学研究法A」「同B」のうち，1科目は必ず履修すること
└選択科目	22		
└自専攻自コース科目			
└自専攻他コース科目			
└自研究科他専攻科目			
修士論文			必要な研究指導を受けた上，修士論文の審査および試験に合格すること (修士論文を提出する学期の履修登録期間に必ず修士論文登録をすること)

### 2. 授業科目の編成・単位

科目名	単位数		
	必修	選必	選択
言語聴覚障害学特論	2		
失語・高次脳機能障害学特論A			2
失語・高次脳機能障害学特論B			2
聴覚障害学特論A			2
聴覚障害学特論B			2
聴覚障害学特論C（補聴器）			2
聴覚障害学特論D（人工内耳）			2
小児言語発達学特論			2
言語聴覚学特論A（成人のコミュニケーション障害）			2
言語聴覚学特論B（小児のコミュニケーション障害）			2
言語聴覚障害研究法A（心理統計）			2
言語聴覚障害研究法B（実験計画法）	2		
言語聴覚障害研究法C（データ分析）			2
言語聴覚障害研究法D（文献講読）	2		
コミュニケーション障害分析法A（治療診断学・成人）			2
コミュニケーション障害分析法B（治療診断学・小児）			2
言語障害研究特殊講義A（機能性構音障害）			2
言語障害研究特殊講義B（器質性構音障害）			2

科目名	単位数		
	必修	選必	選択
言語障害研究特殊講義C（発声発語の生理学）			2
言語障害研究特殊講義D（音声障害）			2
言語障害研究特殊講義E（吃音）			2
言語障害研究特殊講義F（学習障害）			2
言語障害研究特殊講義G（成人の運動性構音障害・摂食・嚥下障害）			2
言語障害研究特殊講義H（小児の運動性構音障害・摂食・嚥下障害）			2
臨床医学特論A（神経内科学）			2
臨床医学特論B（精神医学・リハビリテーション医学・コミュニケーション障害と心理臨床）			2
臨床医学特論C（耳科学・形成外科学・歯科口腔外科学）			2
臨床医学特論D（神経系の基礎と病態・内科学）			2
臨床医学特論E（発達障害医学・脳性麻痺）			2
言語聴覚病理学特論（医学概論・解剖学・生理学・病理学）			2
高次脳機能障害学演習A			2

科目名	単位数		
	必修	選択	選択
高次脳機能障害学演習 B			2
言語発達障害学演習 A			2
言語発達障害学演習 B			2
聴覚障害学演習 A			2
聴覚障害学演習 B			2
発声発語障害学演習 A			2
発声発語障害学演習 B			2
発声発語障害学演習 C			2
発声発語障害学演習 D			2
コミュニケーション科学研究法 A		2	
コミュニケーション科学研究法 B		2	
統語論基礎 ※注2			4
意味論基礎 ※注2			4
音声学・音韻論基礎 ※注2			4

※注1：心理学専攻開講科目。時間割はP. 72～80を参照。

※注2：言語学専攻開講科目。時間割はP. 130～132を参照。

※注3：英語教授法コース（TESOL）開講科目。時間割はP. 140を参照。

科目名 ※(他)：他専攻開講科目	単位数		
	必修	選択	選択
実験音声学特講・演習 I - A ※注2			2
実験音声学特講・演習 I - B ※注2			2
実験音声学特講・演習 II - A ※注2			2
実験音声学特講・演習 II - B ※注2			2
Psycholinguistics ※注3			4
Second Language Acquisition (English) ※注3			4
(他) 心理測定学特殊講義 I ※注1			2
(他) 心理測定学特殊講義 II ※注1			2
(他) 認知心理学特殊講義 I ※注1			2
(他) 認知心理学特殊講義 II ※注1			2
(他) 生理心理学特殊講義 I ※注1			2
(他) 生理心理学特殊講義 II ※注1			2
(他) 発達心理学特殊講義 I ※注1			2
(他) 発達心理学特殊講義 II ※注1			2

### 3. 履修上の注意

- 必修科目の3科目と、選択必修科目のうち、どちらか1科目を含む、30単位以上を履修すること。  
言語聴覚士国家試験の受験資格の取得を希望する場合は、在籍期間中に、厚生労働大臣の指定する科目（平成10年8月厚生省告示227号）を履修すること。
- 1年次終了までに指導教員を決め、履修計画及び、修士論文の作成に対する指導を受けること。
- 2年次春学期に「修士論文計画書」を提出し、論文審査委員（主査1名、副査2名以上）による面接を受けること。  
その結果を受けて、論文の作成にかかり、所定の期限内に提出後、学位論文審査を受けること。

#### ■学部開講関連科目一覧（参考）

授業科目名	担当者 *：非常勤教員	開講学科等
言語学概論1	加藤 泰彦	言語学副専攻
言語学概論2	加藤 泰彦	言語学副専攻
言語障害学概論	進藤 美津子	言語学副専攻
言語障害学特殊講義A（失語症）	*長塚 紀子	言語学副専攻
言語障害学特殊講義B（言語発達遅滞）	*市島 原	言語学副専攻
学習心理学I	廣瀬 英子	心理学科
休 発達心理学I	荻野 美佐子	心理学科
休 発達心理学II	荻野 美佐子	心理学科
認知心理学I	道又 爾	心理学科
認知心理学II	道又 爾	心理学科
人格心理学I	吉村 聡	心理学科
人格心理学II	吉村 聡	心理学科
カウンセリング概論I	クスマノ・ジェリー	心理学科
カウンセリング概論II	クスマノ・ジェリー	心理学科
社会福祉概論	栃本 一三郎	社会福祉学科
社会福祉原論	栃本 一三郎	社会福祉学科

授業科目名	担当者 *：非常勤教員	開講学科等
社会保障論Ⅰ	高原 亮 治	社会福祉学科
精神保健福祉論	藤井 達 也	社会福祉学科
障害者福祉論Ⅰ	大塚 晃 晃	社会福祉学科
障害者福祉論Ⅱ	大塚 晃 晃	社会福祉学科

※科目の詳細（開講期，曜日，時限等）については，学部の授業時間表および履修要覧で確認すること。

※上記の科目は，履修することは可能だが，修了要件に算入することは出来ない。

#### 4. 開講科目一覧表

登録コード	開講期	科目名	単位数	担当教員名 ※(他)：他専攻教員 *：非常勤教員	曜日	時限	教室	備考
MFLC1010	春	言語聴覚障害学特論	2	進藤 美津子	金	2	2-707	
MFLC6010	春	コミュニケーション 科学研究法A	2	進藤 美津子	金	3	言語聴覚 研究センター	
MFLC6020	春	コミュニケーション 科学研究法B	2	原 惠子	木	3	2-707	
MFLC7010	春	失語・高次脳機能障害学特論A	2	コーディネータ 進藤 美津子	火	2	2-707	輪講，一部集中
MFLC7040	春	聴覚障害学特論B	2	進藤 美津子 *加我 君孝	木	5	2-707	隔年開講，輪講，一部集中
MFLC7052	春	小児言語発達学特論	2	原 惠子 *市島 民子	月	5	2-707	隔年開講，輪講
MFLC7060	春	言語聴覚学特論A（成人の コミュニケーション障害）	2	進藤 美津子	木	4	言語聴覚 研究センター	
MFLC7070	春	言語聴覚学特論B（小児の コミュニケーション障害）	2	原 惠子	水	2	2-707	
MFLC7080	春	言語聴覚障害研究法A （心理統計）	2	*山本 崇博	火	5	11-405	
MFLC7120	春	言語障害研究特殊講義A （機能的構音障害）	2	*加藤 正子	火	3	2-707	
MFLC7141	春	言語障害研究特殊講義E （吃音）	2	*小澤 恵美	月	2	言語聴覚 研究センター	隔年開講
MFLC7170	春	高次脳機能障害学演習A	2	*長塚 紀子	火	4	言語聴覚 研究センター	
MFLC7190	春	言語発達障害学演習A	2	原 惠子	月	4	言語聴覚 研究センター	
MFLC7210	春	聴覚障害学演習A	2	進藤 美津子	水	3	言語聴覚 研究センター	
MFLC7230	春	発声発語障害学演習A	2	原 惠子	水	4	言語聴覚 研究センター	集中実習を含む
MFLC7250	春	発声発語障害学演習C	2	*織田 千尋	金	5	言語聴覚 研究センター	
MFLC7041	春	聴覚障害学特論C（補聴器）	2	*中川 辰雄	-	-	-	隔年開講，春学期集中
MFLC7151	春	言語障害研究特殊講義H （小児の運動性構音障害・ 摂食・嚥下障害）	2	*高見 葉津	-	-	-	隔年開講，春学期集中
MFLC7161	春	臨床医学特論C（耳科学・形 成外科学・歯科口腔外科学）	2	*三邊 武幸 *大久保 文雄 *石井 宏昭	-	-	-	隔年開講，春学期集中，輪講



登録コード	開講期	科目名	単位数	担当教員名 ※(他)：他専攻教員 *：非常勤教員	曜日	時限	教室	備考
MFLC7164	春	言語聴覚病理学特論 (医学概論・解剖学・生理学・病理学)	2	* 清水 英 佑 * 石川 博 * 木村 直 史 * 羽野 寛	-	-	-	隔年開講，春学期集中，輪講
MFLC7165	春	臨床医学特論D (神経系の基礎と病態・内科学)	2	* 岡田 大 助 * 内山 真一郎 * 豊島 裕 子	-	-	-	隔年開講，春学期集中，輪講
MFLC7166	春	臨床医学特論E (発達障害医学・脳性麻痺)	2	* 落合 幸 勝 * 栗原 亞 紀	-	-	-	隔年開講，春学期集中，輪講
MFLC1020	秋	言語聴覚障害研究法B (実験計画法)	2	進 藤 美津子	金	2	2-707	
MFLC7020	秋	失語・高次脳機能障害学特論B	2	コーディネータ 進 藤 美津子	火	2	2-707	輪講，一部集中
MFLC7100	秋	コミュニケーション障害分析法A (治療診断学・成人)	2	進 藤 美津子	木	4	言語聴覚 研究センター	
MFLC7110	秋	コミュニケーション障害分析法B (治療診断学・小児)	2	原 惠 子	水	2	言語聴覚 研究センター	
MFLC7130	秋	言語障害研究特殊講義B (器質性構音障害)	2	* 加藤 正 子 * 山下 夕香里	火	3	言語聴覚 研究センター	輪講，一部集中
MFLC7180	秋	高次脳機能障害学演習B	2	* 長塚 紀 子	火	4	言語聴覚 研究センター	
MFLC7200	秋	言語発達障害学演習B	2	原 惠 子	月	4	言語聴覚 研究センター	
MFLC7220	秋	聴覚障害学演習B	2	進 藤 美津子	水	3	言語聴覚 研究センター	
MFLC7240	秋	発声発語障害学演習B	2	* 竹下 圭 子	水	4	言語聴覚 研究センター	集中実習を含む
MFLC7260	秋	発声発語障害学演習D	2	* 織田 千 尋	金	5	言語聴覚 研究センター	
MFLC1030	休講	言語聴覚障害研究法D (文献講読)	2					隔年開講
MFLC7030	休講	聴覚障害学特論A	2					隔年開講
MFLC7051	休講	聴覚障害学特論D (人工内耳)	2					隔年開講
MFLC7090	休講	言語聴覚障害研究法C (データ分析)	2					隔年開講
MFLC7131	休講	言語障害研究特殊講義C (発声発語の生理学)	2					隔年開講
MFLC7132	休講	言語障害研究特殊講義D (音声障害)	2					隔年開講
MFLC7142	休講	言語障害研究特殊講義F (学習障害)	2					隔年開講
MFLC7150	休講	言語障害研究特殊講義G (成人の運動性情音障害・摂食・嚥下障害)	2					隔年開講
MFLC7152	休講	臨床医学特論A (神経内科学)	2					隔年開講
MFLC7153	休講	臨床医学特論B (精神医学・リハビリテーション医学・コミュニケーション障害と心理臨床)	2					隔年開講

※備考欄で特に記載がない場合は前期課程の学生を対象。

※修士論文についてはP. 132参照。

## 【2007年次生以前入学者】

## 1. 修了に要する科目、単位数、科目数などの要件

要件項目名	必要 単位数	必要 科目数	備考（上限，その他）
総単位数	30		
└選択必修科目	18		
└言語聴覚障害学総論	2		
└基礎科目	4		「統語論基礎」「意味論基礎」「音声学・音韻論基礎」のうちいずれか1科目
└その他の選択必修科目	12		
└選択科目	12		
└自専攻自コース科目			
└自専攻他コース科目			
└自研究科他専攻科目			
修士論文			必要な研究指導を受けた上、修士論文の審査および試験に合格すること (修士論文を提出する学期の履修登録期間に必ず修士論文登録をすること)

## 2. 授業科目の編成・単位

科目名 ※(他)：他専攻開講科目	単位数		
	必修	選必	選択
統語論基礎 ※注2		4	
意味論基礎 ※注2		4	
音声学・音韻論基礎 ※注2		4	
実験音声学特講・演習 I-A ※注2			2
実験音声学特講・演習 I-B ※注2			2
実験音声学特講・演習 II-A ※注2			2
実験音声学特講・演習 II-B ※注2			2
Psycholinguistics ※注3			4
Second Language Acquisition (English) ※注3			4
(他) 心理測定学特殊研究 I ※注1			2

科目名 ※(他)：他専攻開講科目	単位数		
	必修	選必	選択
(他) 心理測定学特殊研究 II ※注1			2
(他) 認知心理学特殊研究 I ※注1			2
(他) 認知心理学特殊研究 II ※注1			2
(他) 生理心理学特殊研究 I ※注1			2
(他) 生理心理学特殊研究 II ※注1			2
(他) 発達心理学特殊研究 I ※注1			2
(他) 発達心理学特殊研究 II ※注1			2

※注1：心理学専攻開講科目。時間割はP. 72～80を参照。

※注2：言語学専攻開講科目。時間割はP. 130～132を参照。

※注3：英語教授法コース (TESOL) 開講科目。時間割はP. 140を参照

※注4：修士論文についてはP.132を参照。

## 3. 履修上の注意

1) 30単位以上を履修すること。

なお、選択必修科目のうち、「言語聴覚障害学総論」は必ず履修し、さらに「統語論基礎」「意味論基礎」「音声学・音韻論基礎」のうちの、いずれか1科目を履修することは、修了要件上の必修であり、入学1年次に履修することが望ましい。

07年次生で、言語聴覚士国家試験の受験資格の取得を希望する場合は、在籍期間中に、厚生労働大臣の指定する科目（平成10年8月厚生省告示227号）を履修すること。なお、選択科目のうち、言語障害学特殊講義B（言語発達遅滞）は必ず履修すること。その他の言語学・心理学・社会福祉関連の科目については、4年制大学学部在学中の履修状況に応じた科目を履修する。

2) 1年次終了までに指導教員を決め、履修計画及び、修士論文の作成に対する指導を受けること。

3) 2年次春学期に「修士論文計画書」を提出し、論文審査委員（主査1名、副査2名以上）による面接を受けること。

その結果を受けて、論文の作成にかかり、所定の期限に提出後、学位論文審査を受けること。

# 言語学専攻 博士前期課程 英語教授法コース (TESOL)

## 1. 修了に要する科目, 単位数, 科目数などの要件

要件項目名	必要単位数	必要科目数	備考 (上限, その他)
総単位数	30		
↳ 選択必修科目 (必修)	8		
↳ Introduction to Linguistics	2		
↳ Introduction to TEFL in Japan	2		
↳ Second Language Acquisition (English)	4		2009年度以前の入学者については, Second Language Acquisition 1 (English) (2単位), Second Language Acquisition 2 (English) (2単位)
↳ 選択科目	22		
↳ 自専攻自コース科目	22		
↳ Core Courses	4		
↳ Integrative Seminar in TESOL 1 (Core Topics)	4		
↳ Integrative Seminar in TESOL 2 (Related Topics)	4		
↳ Special Topics in Linguistics			
↳ 自専攻他コース科目			
↳ 自研究科他専攻科目			
修士論文			必要な研究指導を受けた上, 修士論文の審査および試験に合格すること (修士論文を提出する学期の履修登録期間に必ず修士論文登録をすること)

## 2. 授業科目の編成・単位

科目名	単位数		
	必修	選必	選択
<b>&lt; Core Courses &gt;</b>			
Introduction to Linguistics		2	
Introduction to TEFL in Japan		2	
Second Language Acquisition (English)		4	
Teaching Pronunciation			2
Listening and Speaking			2
Reading and Writing			2
Classroom Research			2
Affective Factors in TESOL			2
Semantics and Vocabulary Learning			2
Curriculum and Syllabus Design			2
Thesis Writing1			2
Thesis Writing2			2
<b>&lt; Integrative Seminar in TESOL 1 (Core Topics) &gt;</b>			
Applied Linguistics (Focus on Form)			4
Computer-assisted Language Learning			4

科目名	単位数		
	必修	選必	選択
Action Research			4
TEFL Methodology			4
言語テスト1 ※注1			2
言語テスト2 ※注1			2
Classroom Discourse			2
<b>&lt; Integrative Seminar in TESOL 2 (Related Topics) &gt;</b>			
Bilingual Education			4
Intercultural Interaction			4
Psycholinguistics			4
Sociolinguistics			4
Sociocultural Theory & SLA			2
Qualitative Research Methods			2
Language and Power			2
実験統計法1 ※注1			2
実験統計法2 ※注1			2
第二言語習得研究 (日本語) ※注1			4

科目名	単位数		
	必修	選必	選択
中間言語語用論 ※注1			4
フランス語教授法1 ※注1			2
フランス語教授法2 ※注1			2
日本語教授法特講 ※注1			4
<b>&lt; Special Topics in Linguistics &gt;</b>			
Functional Grammar			4
English and Englishes			4

※注1：言語学専攻開講科目。時間割はP. 130～132参照。

科目名	単位数		
	必修	選必	選択
音声学・音韻論基礎 ※注1			4
統語論基礎 ※注1			4
意味論基礎 ※注1			4
談話研究 ※注1			4
コーパス言語学1 ※注1			2
コーパス言語学2 ※注1			2

### 3. 履修上の注意

1) 30単位以上を履修すること。

なお、上記30単位の中には、次の選択必修科目が含まれていなければならない。

Introduction to Linguistics, Introduction to TEFL in Japan, Second Language Acquisition (English), これら3科目は、修了要件上の必修科目であり、1年次に履修することが望ましい。

また、Core Courses から少なくとも12単位、Integrative Seminar in TESOL 1 (Core Topics) から少なくとも4単位、Integrative Seminar in TESOL 2 (Related Topics) から少なくとも4単位履修すること。

2) 1年次終了までに指導教員を決め、履修計画及び、修士論文・プロジェクトの作成に対する指導を受けること。

3) 2年次春学期に「修士論文計画書」を提出し、論文審査委員（主査1名、副査2名以上）による面接を受けること。

その結果を受けて、論文の作成にかかり、所定の期限に提出後、学位論文審査を受けること。

#### 4. 開講科目一覧表

登録コード	開講期	科目名	単位数	担当教員名 ※(他)：他専攻教員 *：非常勤教員	曜日	時限	教室	備考
MFLT6010	春	Introduction to Linguistics	2	石川 彰	木	3	11-625	M1対象
MFLT6020	春	Introduction to TEFL In Japan	2	渡部 良典	木	6	2-707	M1対象
MFLT6041	春	Second Language Acquisition (English)	4	和泉 伸一	月 水	6 6	9-356	注1
MFLT7010	春	Teaching Pronunciation	2	* 遠山 道子	水	3	CALL-B	
MFLT7040	春	Classroom Research	2	渡部 良典	火	5	2-707	
MFLT7060	春	Semantics & Vocabulary Learning	2	坂本 光代	月	3	2-507	
MFLT7140	春	TEFL Methodology	4	吉田 研作	火 金	6 6	2-AV2 10-B109	
MFLT7150	春	Classroom Discourse	2	FAIRBROTHER Lisa	火	4	紀-103	
MFLT7180	春	Psycholinguistics	4	吉田 研作	火 金	3 3	11-428 10-323	隔年開講
MFLT7190	春	Sociolinguistics	4	BRITTO Francis	月 木	2 2	研究室 9-359	隔年開講
MFLT7230	春	Qualitative Research Methods	2	坂本 光代	火	3	11-625	
MFLT7020	秋	Listening and Speaking	2	* 遠山 道子	水	3	CALL-G	
MFLT7030	秋	Reading and Writing	2	渡部 良典	火	5	2-707	
MFLT7050	秋	Affective Factors in TESOL	2	坂本 光代	木	3	紀-B113	隔年開講
MFLT7070	秋	Curriculum and Syllabus Design	2	渡部 良典	水	6	2-707	
MFLT7100	秋	Applied Linguistics (Focus on Form)	4	和泉 伸一	月 月	4 5	9-356	
MFLT7130	秋	Action Research	4	渡部 良典	木 木	5 6	2-509 2-707	
MFLT7170	秋	Intercultural Interaction	4	FAIRBROTHER Lisa	火 火	3 4	紀-103	
MFLT7200	秋	Sociocultural Theory & SLA	2	坂本 光代	月	3	11-321	
MFLT7210	秋	Functional Grammar	4	石川 彰	火 木	3 3	11-624 9-352	
MFLT7080	休講	Thesis Writing 1	2					隔年開講
MFLT7090	休講	Thesis Writing 2	2					隔年開講
MFLT7120	休講	Computer-Assisted Language Learning	4					
MFLT7160	休講	Bilingual Education	4					隔年開講
MFLT7220	休講	English and Englishes	4					隔年開講
MFLT7240	休講	Language and Power	2					隔年開講

注1：「Second Language Acquisition 1 (English)」「Second Language Acquisition 2 (English)」は2010年度から「Second Language Acquisition (English)」に統合した。

※備考欄で特に記載のない場合は前期課程の学生を対象。

※修士論文についてはP. 132参照。

### 1. 修了に要する科目，単位数，科目数などの要件

要件項目名	必要 単位数	必要 科目数	備考（上限，その他）
総単位数			
└必修科目			
└論文指導		1	単位なし，3年次までに1科目を履修すること
└選択科目			
博士論文			必要な研究指導を受けた上，博士論文の審査および試験に合格すること

### 2. 授業科目の編成・単位

科目名	単位数		
	必修	選必	選択
コミュニケーション障害特殊講義			2
コミュニケーション障害分析法(治療診断学)			2
論文指導	0		

### 3. 履修上の注意

- 1) 修了に必要な履修単位数の条件はない。
- 2) 1年次に指導教員を決め，研究上の指導を受けること。
- 3) 「論文指導」を3年次までに履修すること。
- 4) 博士論文提出前に，合計2つ以上の論文をしかるべき学術雑誌に発表すること。
- 5) 博士論文（課程博士）の作成，提出について
  - (a) 指導教員の指導の下で作成準備にかかり，適当な時期に，論文審査委員会（主査1名，副査2名以上）を構成する。
  - (b) 在学中に論文を提出し，審査を受け，最終試験（公開試問）を受ける。  
 なお，2001年度以降の入学者については，満期退学後3年以内に論文を提出した場合には，課程博士として学位論文審査および最終試験を受けることができる特例が制定された。本特例の適用を受けようとする者は，「満期退学願」提出時に「課程博士学位論文提出申請書」を提出すること。  
 本特例の詳細については，学事センター（学籍・証明書）窓口にお問い合わせること。  
 また，「論文博士」の提出手続きについても学事センター（学籍・証明書）窓口にお問い合わせること。
- 6) 本修了要件（上記1）～5）は，2003年度入学者から施行する。
- 7) 2009年度以降に入学し，課程博士の取得を希望する者は専攻事務室で手順書を入手すること。

#### 言語聴覚障害学を専攻する者は以下を参照すること。

- 1) 修了に必要な履修単位数の条件はない。
- 2) 1年次に指導教員を決め，研究上の指導を受けること。
- 3) 「論文指導」を3年次までに履修すること。
- 4) 博士論文の提出前に，合計2つ以上の論文（ただし，そのうち1つ以上は英語で書かれたもの）をしかるべき学術雑誌に発表すること。
- 5) 博士論文（課程博士）の作成・提出について

- (a) 指導教員の指導の下で作成準備にかかり、適当な時期に、論文審査委員会（主査1名、副査2名以上）を構成する。  
 (b) 在学中に論文を提出し、2回の論文審査に合格した後、最終試験（公開試問）を受ける。

なお、2001年度以降の入学者については、満期退学後3年以内に論文を提出した場合には、博士課程として学位論文審査および最終試験を受けることができる特例が制定された。本特例の適用を受けようとする者は、「満期退学願」提出時に「課程博士学位論文提出申請書」を提出すること。

本特例の詳細については、学事センター（学籍・証明書）窓口にお問い合わせのこと。

また、「論文博士」の提出手続きについても学事センター（学籍・証明書）窓口にお問い合わせのこと。

#### 4. 開講科目一覧表

登録コード	開講期	科目名	単位数	担当教員名	曜日	時限	教室	備考
DFLG7010	春	コミュニケーション障害特殊講義	2	進藤美津子	木	6	言語聴覚研究センター	後期課程の学生で、言語聴覚障害学を専攻するもののみ履修可
DFLG3050	通年	論文指導	0	吉田研作	-	-	-	
DFLG3070	通年	論文指導	0	石川彰	-	-	-	
DFLG3080	通年	論文指導	0	高橋由美子	-	-	-	
DFLG3090	通年	論文指導	0	加藤泰彦	-	-	-	
DFLG3110	通年	論文指導	0	笠島準一	-	-	-	
DFLG3120	通年	論文指導	0	BRITTO Francis	-	-	-	
DFLG3130	通年	論文指導	0	HOLLERICH Jean-Claude	-	-	-	
DFLG3150	通年	論文指導	0	徳永晴美	-	-	-	
DFLG3160	通年	論文指導	0	RUIZ TINOCO Antonio	-	-	-	
DFLG3170	通年	論文指導	0	福井直樹	-	-	-	
DFLG3180	通年	論文指導	0	進藤美津子	-	-	-	
DFLG3190	通年	論文指導	0	渡部良典	-	-	-	
DFLG3200	通年	論文指導	0	井上幸義	-	-	-	
DFLG3210	通年	論文指導	0	市之瀬敦	-	-	-	
DFLG3230	通年	論文指導	0	和泉伸一	-	-	-	
DFLG3240	通年	論文指導	0	小柳かおる	-	-	-	
DFLG3250	通年	論文指導	0	本橋辰至	-	-	-	
DFLG3260	通年	論文指導	0	NEVES Mauro	-	-	-	
DFLG3270	通年	論文指導	0	新倉真矢子	-	-	-	
DFLG3280	通年	論文指導	0	西村君代	-	-	-	
DFLG3290	通年	論文指導	0	坂本光代	-	-	-	
DFLG3300	通年	論文指導	0	清水崇文	-	-	-	
DFLG3310	通年	論文指導	0	篠原茂子	-	-	-	
DFLG3320	通年	論文指導	0	TOIDA Helena	-	-	-	
DFLG3330	通年	論文指導	0	村田真一	-	-	-	
DFLG3340	通年	論文指導	0	水林章	-	-	-	
DFLG3350	通年	論文指導	0	COUCHOT Hervé	-	-	-	
DFLG3360	通年	論文指導	0	AMAT Edelmira	-	-	-	
DFLG3370	通年	論文指導	0	FAIRBROTHER Lisa	-	-	-	
DFLG3390	通年	論文指導	0	TUCHAIS Simon	-	-	-	
DFLG3400	通年	論文指導	0	LIPSKY Angela	-	-	-	
DFLG3410	通年	論文指導	0	原恵子	-	-	-	
DFLG7020	秋	コミュニケーション障害分析法 (治療診断学)	2	進藤美津子	木	6	言語聴覚研究センター	後期課程の学生で、言語聴覚障害学を専攻するもののみ履修可

※「論文指導」の履修年次は後期課程の1～3年次である。